



新年 あいさつ



葉山町長
森 英二

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年の国内外の情勢を振り返りますと、サブプライムローンやリーマンブラザーズの破綻など近年には類のない世界的な経済・金融危機に怯えながら年を越えました。その余波で今年も厳しい状況が懸念されます。

しかし、変化が予感される年でも

あります。アメリカでは、師と仰ぐ故アーサーキング牧師の「I have a dream」（私には夢がある）を信念に「change」（変化）を唱えたオバマ氏が長丁場の選挙戦を制し、一月二十日第四代大統領に就任します。アメリカの歴史において、アフリカ系黒人は初めてであり、またWASP（白人・アングロサクソン・プロテスタント）以外の大統領の誕生は故JFKに次いで二人目ということ、大きな「change」のはじまりとして注目されます。

奇しくも同じ一月二十日、私は町長に就任いたしました。一年を振り返りますとその責任の重さと期待の大きさを痛感しております。

就任以来、これまでの政策から大きく転換させたものの一つに「ごみ処理」が挙げられます。横須賀・三浦の両市と葉山で広域処理をめざすという計画でしたが、この場合横須賀市に大型の焼却炉を建設して「ごみを燃やし続ける」というものでした。これは「ごみは燃やさず減らすことで環境を守る」という世界的な流れに逆行するもの、との考えに立ち葉山として独自処理を選択しました。各家庭における生ごみの堆肥化や分別による資源化などを推進し、ごみの焼却と埋め立てを段階的にゼ

ロに近づけていく「ごみゼロ（ゼロ・ウェイスト）」を目指す方針を固めました。広域処理計画から葉山が離脱したことにより、両市と異なる処理方式になりますが、広く世論の支持を得るためにもゼロ・ウェイスト政策を着実に進めてまいります。

町政の実態を皆様知ってもらうとともに、住民のニーズを掴むため、町内各地に出向く「町長と語る！ふれあい座談会」を九回開きました。今年も続けますのでぜひご参加ください。また、開かれた町政のため、二月議会からインターネット放送を始めます。町のホームページでぜひご覧ください。

さて、私は政治の基本理念の一つに「子育てと教育環境の向上」を掲げております。新しい事業として、地域ぐるみで子育てをサポートするための拠点となる子育て支援センター「ほけっと」を十月にオープンし、子育て施策が大きく前進しました。

新たに迎えた平成二二年度は、かつてない厳しい財政状況の中で財政の健全化を重視し、町政を運営してまいります。本年も一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご繁栄を心からご祈念申し上げます。



賀 箋

年 頭 の ご

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。平成二十二年の新春にあたり、町民皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

議長に就任しましてから今年二年目となりましたが、昨年は年初から第三次石油危機がクローズアップし、石油価格の急騰やそれに伴う家

庭生活用品等の物価高や企業の倒産、賃金低迷のダブルパンチが家計を直撃しました。

それに続き、世界的な金融危機と

景気後退によつて日本経済も減速から後退局面に入ったといわれており、国政における政争と対立、省庁への不信、社会秩序の破壊等、政治経済社会のすべてに安定を欠いた世相が続いてきました。

さて、本町にあつては、昨年の年頭から町長選挙と町議会議員の補欠選挙があり、あわただしい政治の幕開けとなりました。

一月二十日の町長選挙で森町長が誕生して以来、議会では立候補時のマニフェストの考えが議論の中心におかれています。

特に町民生活に重大な継続事業の見直しについては、近隣市町や県及び省庁との関係を含め、町政にかかわる重大な要素も含まれておりますので、議会としても町民の立場から審議を進めております。

まもなく、平成二十一年度予算編成の時期となり、施策を具体化する事業案が示されることとなりますが、国や地方を通じ財政上の厳しさが増大する中、当町においても一層の行財政改革の推進が必要と考えております。



葉山町議会議長

笠原 俊一